

令和8年度 学校経営計画

- 東京都教育委員会目標
 - ・スクール・ミッション
- スクール・ポリシー
 - ・グラデュエーション・ポリシー
 - ・カリキュラム・ポリシー
 - ・アドミッション・ポリシー
- 本校の教育目標と目指す学校
 - ・ユネスコスクールとしてESDの推進拠点となる持続可能な教育実践に取り組み、自らの行動に自信をつけさせ自己肯定感を高める教育活動を通じて、生徒一人一人が変化する社会に柔軟に対応する力（知識・技能・思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力）を培い、共に挑戦し学び続ける心身の構えが身に付いた生徒を育成する。
 - ・生徒の心身の安全と秩序の維持を最優先した教育活動を通して、（敬愛）互いの人権を尊重し、（協働）協力し合いながら、生徒一人一人が将来の夢や希望をかなえるために、（克己）自分の弱さを克服し、（高志）志を高めて自ら学びに向かおうとする姿勢を養い、自身の可能性に目醒め、自分軸で本当に自分が実現したいことに100%集中できる生徒を育成する
- 本校のグランドデザイン

Anniversary 40th
since 1983

山高魅力化プロジェクト

自分の実現したいことに100%
集中できる生徒の育成

- ・教育課程実践検証協力校 ESD
（国立教育政策研究所）
- ・ユネスコスクール
（日本ユネスコ協会）
- ・生成AI研究校
（教育庁総務部情報企画）
- ・AI教材活用推進校・学力向上研究校
（教育庁指導部高校教育改革）

- 町田市・山崎町と緊密な連携
 - ・町田市立山崎中学校、町田市立七国山小学校、正和幼稚園、町田青年会議所等と連携した教育活動
 - ・東京都町田市への郷土愛の更なる育成・山崎高校生の町田市・山崎町への理解伸長
 - ・地域の課題解決へ貢献（防災・防犯・地域活性化）
- 高大連携
 - ・桜美林大学、玉川大学、東京家政学院大学等との連携

観点	中期的目標と方策	今年度の教育活動の目標と方策	重点目標と方策
学習指導	<p>■ 「東京型教育モデル」を実践し、習熟度や進路希望等の個性や能力を踏まえた個別最適化を推進</p> <p>【目標】 Society5.0 時代を切り拓ひらくイノベーション人材を育成</p> <p>【方策】</p> <p>1-1 カリキュラム・ポリシーに基づき、教科会、教科主任会、職員研修連絡会を開催して、学力分析、学習指導分析等を深化させ、組織的に生徒の学力の向上を図ります。</p> <p>1-2 カリキュラム・ポリシーを徹底し、すべての教育活動の質の向上を目指すために、TOKYOスマ</p>	<p>【目標】 一人ひとりの個性や能力に合った最適な学びの実現</p> <p>【方策】</p> <p>2-1 一人ひとりの個性や能力にあった最適な学びの実現を図るために、生徒同士の学び合いの時間と振り返りの時間を全ての授業に組み込み「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて「学びたくなる授業」づくりの定着をはかります。</p> <p>2-2 教科主任会議を時間割（水曜5時間目）に組み込み、「入学選抜」「模試」「共通テスト」等の分</p>	<p>【目標】 全ての生徒に確かな学力を育む教育</p> <p>【方策】</p> <p>3-1 「学びたくなる授業」づくりの定着化を意図して、長期休業期間の講座で、「本物を見て、触れて」リアルにまなべるように校外学習講座（飛び出せ山崎）継続させます。</p> <p>3-2 小テスト等の授業内評価や単元別評価を重視し、定期考査のための授業ではなく、きめ細かに習熟度を測り、学習環境を整え、学力の橋上を図ります。</p>

	<p>ート・スクール・プロジェクトに基づき、教育のデジタル化を推進します。</p> <p>1-3 ユネスコスクールに相応しい持続可能な開発に向けた教育（ESD）を、すべての教科・科目と、すべての学校行事等に織り交せて「主体的・対話的で深い学び」の実現と探究能力の向上を図ります。</p> <p>1-4 教科指導のなかで、興味関心や能力が高い生徒、または、将来の進路実現に向けて、プラス（入試や進路選択）になると考えられる生徒については、「ビブリオバトル」「スピーキングコンテスト」「サイエンスフェア」等の大会やコンテストへ意図的に参加を働きかけて、一人ひとりの個性や能力にあった最適な学びに取り組みます。</p> <p>1-5 令和10年度入学生から教育課程を見直します。</p> <p>1-6 TOKYO GLOBAL GETEWAY等を活用しコミュニケーション能力の向上を図ります。</p> <p>1-7 生徒一人1台タブレット端末やAI教材を活用して、授業外学習時間増を図り、学習習慣の定着につなげて、学力の向上を図ります。</p> <p>1-8 各教科で、資格取得や検定に取り組むことを検討します。</p>	<p>析を行うとともに、教科書選定や教育課程、観点別評価やICT活用、施設・設備活用と充実等について共有化・共通化を深めて、授業改善と学力向上に取り組めます。</p> <p>2-3 習熟度クラスを設けて、個別最適な学びと協働的な学びを活性化させ、意欲の高い生徒の向学心を高めさせて、全生徒の意欲の向上を図ります。</p> <p>2-4 「総合的な探究の時間」は、コンソーシアム会議でPDCAをサイクルし、地域関係機関とともに授業づくりに取り組み探究支援員を活用して、フィールドワーク等を通じた探究活動を実施し、課題発見能力や問題解決能力を育成する。さらに、調べ学習にとどまらぬよう発表の機会を設け、主体的な判断力や表現力を養います。</p> <p>2-5 教員全員が、年2回相互授業参観とフィードバックを行うとともに、先進校視察に積極的に参加し、研修成果を教科等で還元することを通して、組織的に教科指導の改善に努め、授業力の向上を図る。</p>	<p>3-3 教室の掲示物はできるだけTeamsへ移行し、ごみを持ち込まない指導を意図してごみ箱を最小限化する等、教育環境のユニバーサルデザイン化を含めて、授業環境の改善向上を図ります。</p> <p>3-4 生徒に時間を管理することを意識化させるために「ノーチャイム制」とし、授業開始を厳守させ自主自立を深化させ主体性を深長させます。</p> <p>3-5 教職員がグリーンデスクを含めた執務室5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)に徹底して取り組む、生徒に模範を示します。</p> <p>3-6 各教科のシラバスを活用して、統一した授業規律等の徹底を図り、規範意識、校区養親、道徳教育の充実を図り、組織的な対応を徹底します。</p> <p>3-7 町田市立七国山小学校及び町田市立山崎中学校と連携して、相互の授業見学と合同研修を年2回以上実施し、発達を踏まえた段階的な学校教育の現状を把握し、授業力の向上につなげます。</p>
<p>生活指導・健康づくり</p>	<p>■ 生徒の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む「学び」</p> <p>【目標】生徒の健全育成と心身の健康・体力向上の推進と、きめ細かいサポートの充実</p> <p>【方策】</p> <p>1-1 コンプライアンスを徹底し、生命を大切にし、お互いを尊重する意識を醸成します。</p> <p>1-2 持続可能な開発に向けた教育（ESD）をとおして、持続可能な環境づくりと美化活動に取組み、グローバル感覚を醸成します。</p> <p>1-3 人権尊重の理念を定着させ、あらゆる偏見や差別をなくす教育を充実します。</p> <p>1-4 自殺対策基本法を踏まえ、SOSの出し方や相談先について、きめ細かい指導を行います。</p> <p>1-5 いじめ防止等の対策や自殺対策に資する教育を推進します。</p> <p>1-6 生徒に寄り添い向き合う指導を充実させることで、不登校・中途退学の未然防止や早期支援につなげ、生徒の居場所づくり等に取り組めます。</p>	<p>【目標】生徒の健全育成と新進の健康・体力向上の推進と生徒の社会化</p> <p>【方策】</p> <p>2-1 校則について、生徒・保護者・地域・関係機関・教職員等と協議を深めて見直しを図ります。</p> <p>2-2 SNSなど「SNS山高ルール」を徹底し情報モラルやマナーを身に付けさせて、Society5.0時代を切り拓ひらくイノベーション人材を育成します。</p> <p>2-3 学校行事・生徒会活動・部活動は、生徒が主体となって、準備・実施・片付け・引き継ぎができるように立案・実施・評価・見直しを実施して、18歳成年に相応しい立ち居振る舞いを身に付け、真の自立を図ります。</p> <p>2-4 「特別支援コーディネーター連絡会」を週1回（月曜日4時間目）開催し、特別支援教育コーディネーターがスクールカウンセラーと連携して、個別の支援や個別の教育相談活動の充実と、ソーシャルスキルや非認知能力の向上を図るなど、生徒の自立と自律に向けた教育を推進します。</p>	<p>【目標】生徒の健全育成と心身の健康・体力向上の推進、健やかな成長に向けたきめ細かいサポートの充実</p> <p>【方策と数値目標】進級率100%、卒業率100%</p> <p>3-1 教員間で生徒指導に差がないように、校則の見直しを引き続き深化させるとともに、時間講師等を含めた毎朝の打合せでの周知徹底、校内研修等を繰り返し実施する等、指導の共通化を図ります。</p> <p>校則の点検と見直しについては（教育庁指導部高等学校教育指導課 3教指高第36号）のとおりすすめます</p> <p>3-2 教職員等（TEAM山高）全員による統一した生活指導により、衛生的で、安全・安心な学習環境を整えて、健全な心身の育成を図ります。</p> <p>3-3 町田の丘学園の支援の下、特別支援コーディネーター連絡会を中心に、教室等のユニバーサルデザインを推進し、特別支援教育の充実を図ります。</p> <p>3-4 ユネスコスクールとしての活動を充実させ、生徒会・委員会活動等の深化・充実を図り、主権者意識の向上と自己肯定感の向上につなげるとともに、グローバルシチズンシップを醸成します。</p>

		2-5 セーフティ教室・薬物乱用防止教室等をと おして、生命尊重の精神を養うと共に自殺対策、いじ め防止に資する教育を推進します。	
進路指導	<p>■ 生徒の個性と成長に合わせて意欲を引き出す「学 び」</p> <p>【目標】世界に羽ばたくグローバル人材の育成 【方策】</p> <p>1-1 アドミッション・ポリシーを基に、人権教 育、主権者教育等を実施して、18歳成人に相応し い立ち居振る舞いのできる主権者を育成します。</p> <p>1-2 グラデュエーション・ポリシーにおける「創 造力」、「表現力」、「課題発見力」を育成し、変化す る社会に柔軟に対応する力を養います。</p> <p>1-3 国際交流を更に推進するとともに、TOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG) 等を活用してコミュニ ケーション能力の向上を図ります。</p> <p>1-4 「総合的な探究の時間」における体験活動等 が、進路実現に関係していることを生徒に指導し、 入学時からのキャリア教育と重ね合わせて、送料 力、問題発見力を向上させ、進路実現につなげる。</p> <p>1-5 東京都教育委員会が推進する海外研修等、都 立学校ならではの事業への参加を推進し、前例に捉 われずに、都立学校としての強みを生かした教育 に、積極的に取り組みます。</p> <p>1-6 海外研修旅行を実施して、グローバルシズ ンシップの育成を図ります。</p>	<p>【目標】夢と志をもち、可能性に挑戦しようとする力 を育む教育 【方策】</p> <p>2-1 1年生から3年生までの面接指導を全教員体 制で実施し、生徒理解を深めながら、生徒の進路 実現に向けた相談と具体的な指導・助言に取り組 み、教員間で情報共有を図り、計画的・組織的に 生徒の意識と面接対応力の向上を図ります。</p> <p>2-2 「総合的な探究の時間」において、アウトプ ットすること重点を置いた指導を計画し、「表現 力」の向上を図り、進路活動における面接・論文等 に活用できるように深化させます。</p> <p>2-3 生徒がさらに学力を伸ばし、進路実現を果た して行けるような、講習（ゼロ限目）等を実施する とともに、入学選抜等の分析会や模擬試験等の事前 学習期間を工夫する等の改善を図ります。</p> <p>2-4 海外交流PTを設置し、海外研修旅行の実施 を継続させます。</p>	<p>【目標】高いレベルでの進路実現の達成率向上 【方策と数値目標】進路決定率 100%</p> <p>3-1 多様な進路希望に対応するために、「面接対 策（年3回以上）」を1学年から3学年まで実施し ます。その際に、1・2年生は、非行防止や不登校 未然防止を意図して、夏季休業期間前までに1回以 上実施します。3年生で校長推薦が必要な者は8月 28日までに管理職面接を実施するとともに、全 教職員で生徒の進路実現を支援します。</p> <p>3-2 ユネスコ活動を基に、町田市や山崎町を焦点 化した探究学習に取り組み、「山崎サミット」を開 催する等、関係機関や地域住民と意見交換（コンソ シアム）しながら持続可能な開発に向けた教育 （ESD）の充実化を図ります。</p> <p>3-3 「タウンウォーク」を行い、町田山崎町をフ ィールドにした1年次からの探究学習の充実を図 り、地域に目を向けた教育活動を推進します。</p> <p>3-4 玉川大学及び桜美林大学との連携を深め、高 等教育について理解の深化を図り、キャリア教育の 充実化を図ります。</p> <p>3-5 町田青年会議所及び町田山崎団地商店街等 との交流を深め、生徒の社会化を図り、地域の教育力 を活用したキャリア教育を推進します。</p>
特別活動等	<p>【目標】特別活動等の充実化 【方策】</p> <p>1-1 生涯を通じて、たくましく生きるために必要 な体力を育む教育を推進します。また、健康で充実 した生活を送るための力を育む教育を推進します。</p> <p>1-2 危険を予測し回避する能力や、社会の安全に 貢献できる資質・能力を育む教育を推進します。</p> <p>1-3 生徒会が中心となって、学校行事の一層の充 実を図り愛校心や帰属意識、郷土理解、リーダー性 を高めます。</p> <p>1-4 生徒会活動の活性化を図り、生徒の主体的な 参加を通じてスポーツや文化活動に親しみ、これまで 培ってきたオリンピック・パラリンピック教育の 活動を「東京2020レガシー」の構築に向けて、さら にその先に社会で活躍するために必要な力を身に 付ける教育を推進します。</p>	<p>【目標】学校行事や生徒会活動によるリーダー養成 【方策】</p> <p>2-1 地域の社会人等と連携を図り、学校内外を問 わず、発表・実践を通して、知識・技能の伸長を図 るとともに、主体性と主権者意識を育てます。</p> <p>2-2 学校行事や生徒会活動では、生徒が主役とな り生徒自身が企画・運営（清掃・片付け・改善・引 き継ぎを含む）して、達成感と成就感等を経験させ て、自主自立を図ります。</p> <p>2-3 生徒委員会活動を重視し、自主自立の精神や リーダーシップを育成し、人間力の向上を図りま す。</p> <p>2-4 部活動等の安全・充実の向上を図るため、学 校規模（人・施設・予算）に見合った規模へ「選択 と集中」を図り、地域や連携大学からの外部指導員</p>	<p>【目標】学校の特色を生かした非認知能力の向上 【方策と数値目標】ボランティア参加者 100名以 上、図書貸出冊数一人4冊以上</p> <p>3-1 ユネスコスクール認定校の特色を踏まえて、 生徒委員会数を増やし、生徒一人一人に役割を与え て、社会性を育むとともにコミュニケーション能 力、課題解決能力や責任感等の深化を図り18歳成 年年齢に相応しい主権者意識を身に付けさせます。</p> <p>3-2 委員会・部活動は、委員長会・部長会を毎月 定期的に開催し、リーダーシップの育成と、自主自 立の向上を図ります。</p> <p>3-3 オリエンテーション期間と各学期はじめに図 書館からのガイダンス等を実施して、図書活動の充 実を推進します。</p> <p>3-4 ラウンジを活用して、学校生活の充実感向上 が図れるような取り組みを検討します。</p>

	<p>1-5 図書室の利用を促進し、読書活動をさらに推進させ、国語力や表現力を養わせ、読書意欲の向上と未読率の解消を図るとともに、ビブリオバトル（書評合戦）等に積極的に参加します。</p>	<p>等を積極的に活用することを推進して、部活動の推進を図ります。 例：部活動顧問を兼任することを最大限に解消するとともに、教職員も生徒も活動が分散することがないように、活動曜日や活動時間を整頓して、学習活動と特別活動の安全・安心の向上を図ります。</p>	<p>3-5 ユネスコスクールとしてSDGsを推進し、「世界人権デー」「GreenDay」「世界教師の日」を計画的に実施します。</p>
<p>家庭・地域との連携協力・交流活動、学校広報活動</p>	<p>【目標】 地域・社会の教育資源を活用し、生徒を支え伸ばす教育活動の推進 【方策】 1-1 家庭や地域（警察、児相、子家セ等）との連携を深めて、18歳成年に相応しい立ち居振る舞いのできる主権者を育成します。 1-2 学校HPやインスタグラムを積極的に活用し、保護者、地域、関係機関等から、さらに信頼が高まる、開かれた学校づくりを推進します。 1-3 地域（防災、防犯、交流イベント、環境美化）活動へ積極的に参加するとともに、海外及び国内のユネスコスクールとの交流を促進します。 1-4 避難訓練や防災教育の見直し、避難所開設や帰宅訓練等地域、関係機関、保護者を含めた内容へ改善を図り、実践的な力を養う。 1-5 桜美林大学、玉川大学、東京家政学院等と連携を深め、大学生や大学関係者等と交流をとおして、生徒の自立・自律を深化させます。</p>	<p>【目標】 学校と家庭、地域・社会が一体となり、子供を見守り、育てる教育活動の推進 【方策】 2-1 授業公開、学校説明会、保護者会、学校行事等、保護者及び地域住民の参加者数増をめざして、開催の周知方法や内容の改善を図り、「山高」の魅力を発信します。 2-2 山崎町や町田市と緊密に連携して避難・防災・防犯体制を常に見直し、「危機管理マニュアル」等を細やかに更新するなど、学校課題を発見・改善する校内研修を意図的、計画的に実施します。 2-3 山崎町や町田市へ貢献できるような体験をとおして、生徒の自己肯定感の向上が図れるような連携を推進します。また、山崎町や町田市と連携して安全教育、防災教育の充実化を図ります。 2-4 町田市立七国山小学校及び町田市立山崎中学校と本校との連携をさらに深化させます。 2-5 学校HPとインスタグラム等の更新回数と内容の改善を図ることで、学校の様子の見える化を推進させます。</p>	<p>【目標】 町田市・山崎町等地域との連携・交流 【方策と数値目標】 学校HP更新150回以上、Instagram100回以上、授業公開、保護者会・学校行事等の来校者数1000名以上、学校説明会等600名以上 3-1 生徒会（委員会・部活動を含む）生徒を中心として、地域貢献活動に力を入れ、地域清掃や挨拶運動、ボランティア活動に積極的に参加させます。地域の方々にふれあい、社会の力になる体験をさせ自己肯定感を高め、非認知能力の向上を図ります。 3-2 「総合的な探究の時間」等の教育活動を実施するにあたり、山崎団地自治会、山崎団地名店街、町田市青年会議所、玉川大学教育学部等とともにコンソーシアム会議を年4回開催して、持続可能な地域探究に取り組みます。 3-3 「まちやま祭」（幼小中高合同文化祭）は、委員会活動や学習活動の成果発表等を充実させ、改善を図ります。 3-4 国内ユネスコスクールへ訪問する等、教員間・生徒間交流を充実させ、他者理解能力やコミュニケーション能力等の向上を図ります。 3-6 避難訓練や防災教育を見直し、避難所開設や帰宅訓練等、地域、関係機関、保護者を含めた内容へ改善を図り、実践的な力を養います。</p>

<p>学校経営・ 組織体制</p>	<p>【目標】 学びを支える教師力・学校力の強化 【方策】</p> <p>1-1 教育公務員として、高い使命感・倫理観をもって服務規律を遵守（コンプライアンス）し、生徒・保護者・地域から信頼されるように常に見直しと改善を図ります。</p> <p>1-2 質の高い教育を支えるための環境と、質の高い学校教育を支える施設・設備等を整備します。</p> <p>1-3 ライフ・ワーク・バランスの推進への取組を促進します（「年休・夏休取得推進週間」「定時退庁週間」等）。</p> <p>1-4 C4th や採点システム等のデジタル技術を活用して業務の効率化（時間等）を図ります。</p> <p>1-5 教育公務員の魅力・やりがいを発信し、誰もが「山高」に勤務したくなるような学校づくりを推進します。</p> <p>教育行政や学校教育の楽しさや魅力、そして、都立学校で勤務することの充実感や達成感等、喜びが感じられる風土づくりを意識化した OJT に取り組みます。</p> <p>1-6 地域や町田市立小中学校の声に耳を傾けて、伝統を引き継ぎ、信頼される学校経営いたします。</p> <p>1-7 創立 50 周年に向けた計画を立案し、着実に発展・進化させます。</p>	<p>【目標】「TOKYOスマート・スクール・プロジェクト」の推進 【方策】</p> <p>2-1 「学び方改革」「教え方改革」「働き方改革」の3つの改革を同時に推進します。</p> <p>2-2 コンプライアンス厳守、確実な点検確認作業を心かけて実施し、事故の未然防止を図ります。</p> <p>2-3 教職員が執務室の5S（整理・整頓・清潔・清掃・躰）に取組み、事故未然防止の向上を図るとともに、業務の効率化を図ります。</p> <p>2-4 教育系と行政系の担当業務を見直し、経営企画室の負担を軽減し、経営企画機能を高め、学校経営参画を推進し、教育系と行政系の職員が組織的に連携した学校運営や施設管理を行います。</p> <p>2-5 イクボス宣言、在宅勤務、男性育休、時差勤務、定時退庁週間・年休取得推進週間等を推進して、ライフ・ワーク・バランスを推進します。</p> <p>2-6 登下校時や授業等で部活動指定品を活用できるように改善する等、「費用対効果」を評価して学校指定品の見直しを図ります。</p> <p>2-7 「教育的効果」「費用対効果」を評価して学校行事、授業内容、年間計画等の改善を図ります。</p> <p>2-8 生徒が自ら考え、学びを得られるような宿泊行事や海外派遣研修を推進します。</p>	<p>【目標】 ライフ・ワーク・バランス推進と組織活性化 【方策と数値目標】 超勤時間月 80 時間以上ゼロ・45 時間以上ゼロ、いじめや生徒事故・体罰等の服務事故ゼロ</p> <p>3-1 法令違反やコンプライアンス違反は、遅滞なく関係機関へ連絡し、厳正なる対応を徹底します。</p> <p>3-2 経営企画室施設担当とミドルリーダー等が連携し、中心となって計画立案し、全教職員で、教室、執務室、教科準備室、次週・実験室等の整理・整頓・清潔・清掃を強化し、害虫駆除等学校内衛星の確実な向上を図ります。</p> <p>3-3 未来を支える生徒と教職員を育成するために ICT 機器等のデジタル技術を活用した校務（働き方改革、東京 DX 等）を推進します。</p> <p>3-4 校内研修連絡会を毎週水曜日放課後に開催して、いじめ、体罰、ハラスメント、入学選抜、服務等の違反や事故未然防止を図ります。</p> <p>3-5 ミドルリーダー等による校内研修等、人材育成の充実化を図り、企画調整会議や教科主任会議を活性化させ人づくりと組織づくりを深化させます。</p> <p>主幹教諭が主任教諭を育成し、主任教諭が教諭へ指導・助言しながら支援をするような体制を深化させて、教育公務員としてのやりがいや成果が実感できて喜びが感じられる人材育成を図ります。</p>
-----------------------	--	--	---